

2010/11/27

JR10FP

MMTTY 使用方法

1. リグとパソコンを接続する

- ① PCのMIC/SP ジャックとリグ ACC
- ② PCのUSB ジャックとリグのACC (インターフェース回路が必要)

2. ソフトウェアのインストール

下記 HP から”mmtty168.zip” と “extfsk106.zip”をダウンロードする。

<http://www33.ocn.ne.jp/~je3hht/mmtty/index.html>

- (1) mmtty168.zip を解凍し、解凍した “MMTTY” をディレクトリ毎 Cドライブの
適当な場所にコピーする。
- (2) extfsk106.zip を解凍し、解凍した “Extfsk.dll” ファイルを MMTTY ディレクト
リの中にコピーする。
- (3) MMTTY の起動方法
MMTTY ディレクトリの中の “mmtty.exe” をダブルクリックする。

2. MMTTY の使い方 (UP12C を使った例)

- (1) UP12C を PC の USB ポートに接続する。 この時 COM ポート番号を調べておく。
- (2) MMTTY を起動する。
- (3) オプション => 設定画面 =>送信で PTT&FSK の Port で “EXTFSK”を選択する。
=> OK を押すと “EXTFSK 1.06” ウィンドウが現れる。
- (4) EXTFSK ウィンドウで Port 番号を UPC12C の COM ポート番号にする。
FSK output を “DTR”, PTT output を “RTS”に設定する。
- (5) オプション => 設定画面 => その他
送信ポートの所で 「サウンド + COM-TXD(FSK)」 を選択する。
 - ① リグを LSB モードで使うと AFSK となる。
 - ② リグを RTTY モードで使うと FSK となる。
- (6) MMTTY メニューで 表示 => XYScope にチェック --- 弱い局を探し易くなる。
- (7) 送信確認方法 (例)
MMTTY 画面の Call の所に相手 Call を入れ Macro の 1x2 ボタンを押すと
相手を呼び出す信号を送信する。

以上